

干潟の経済価値評価・CVM調査票（案）

●アンケートの構成案

問題数	質問理由	内容
第1問	環境意識の確認	環境問題全般への関心
第2問	要因分析	関連する用語についての認知度
第3問		海への来訪頻度
第4問	干潟に関する基礎的な説明	干潟とは何かについて
第5問		干潟の生きものを守ることにに対する意識
第6問		小魚・稚魚の生息場所としての干潟に対する意識
第7問		食料供給源としての干潟に対する意識
第8問		干潟の絶滅危惧種に対する意識
第9問		鳥の飛来地、生息地としての機能に対する意識
第10問		水質浄化機能に対する意識
第11問	干潟の利用状況	干潟への来訪の有無
第12問		干潟の利用目的の確認
第13問	干潟を守る取り組みについての説明	干潟の減少傾向についての説明
第14問		開発によって干潟が失われることへの賛否
第15問		防災対策と干潟の保全についての意識
第16問		「生態系」についての説明と、それに対する意識
第17問		愛知目標に対する賛否
第18問		ラムサール条約についての意識
第19問		干潟の保全活動に対する意識
第20問		干潟の再生活動に対する意識
第21問		干潟を守るためにお金がかかることに対する賛否
第22問	支払意思確認	支払意思確認（1回目）
第23問		支払意思確認（2回目：1回目で「はい」の場合）
第24問		支払意思確認（2回目：1回目で「いいえ」の場合）
第25問	金額支払いの理由と抵抗	抵抗回答抽出、金額を支払う理由（支払いに同意した場合）

問題数	質問理由	内容
第 26 問	抗回答抽出	抵抗回答抽出、金額を支払う理由（支払いに同意しない場合）
第 27 問	個人属性の確認	同居している家族の人数
第 28 問		家族の中で収入のある人の数
第 29 問		職業
第 30 問		世帯収入の確認
第 31 問	調査票の課題の確認	自由回答欄

※アンケート案で使用されている写真等は仮のものである。

※この調査票案は作成途中のものであり、今後、内容を検討しながら修正を行う。

【第1問】

あなたが重要であると考える環境問題について教えてください。あてはまるものすべてにお答えください。

- 地球温暖化
- オゾン層破壊問題
- 森林破壊
- 生物多様性の減少
- 酸性雨問題
- 大気汚染
- 水質汚染
- 砂漠化
- 廃棄物問題（ゴミ問題）
- 放射能問題
- その他

【第2問】

あなたは以下の言葉について知っていますか。

	知っている	言葉だけは聞いたことがある	知らない
生物多様性条約	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
愛知目標	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ラムサール条約	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生態系	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生物多様性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
絶滅危惧種	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【第3問】



あなたは海にどれくらいの頻度で訪れていますか。以下のうち、一番ちかいものを1つお選びください

- ほぼ毎日訪れる。
- 週に1～2回程度訪れる
- 月に1～2回程度訪れる
- 半年に1～2回程度訪れる
- 年に1～2回程度訪れる
- 全く訪れない

【第4問】

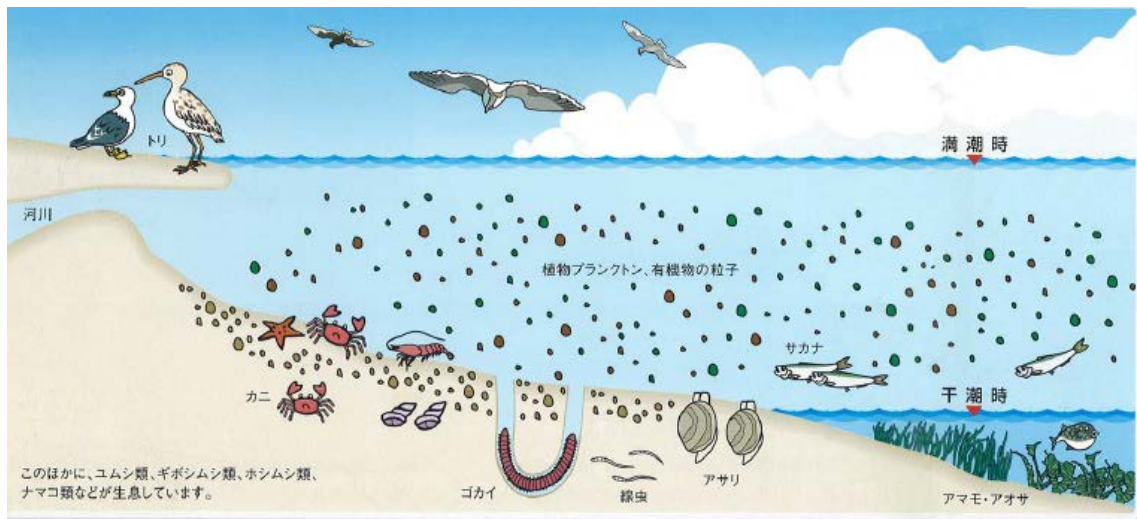
「干潟」とは、潮の満ち引きの影響で、時間によって海水面の下になったり陸地になったりを繰り返す、陸と海の境目にある場所のことです。

あなたは、「干潟」がどのような場所のことを指すのか、ご存知でしたか。

	
福岡県・和白干潟	愛知県・汐川干潟
※干潟は、海岸において、砂や泥などで形成されている平らな土地です。	
出典：日本の重要湿地 500 ウェブサイト	

- 非常によく知っていた
- 知っていた
- あまりよく知らなかった
- 知らなかった

【第5問】



出典：水産庁パンフレット『藻場・干潟』

干潟は、アサリやシジミなどの二枚貝をはじめ、カニやゴカイなど多様な海の生きものが生息している場所です。

あなたは、海の生きものが暮らしていける場所として干潟を守ることについて重要だと思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第6問】

干潟は、非常に水深が浅い場所となるため、大きな魚は入ってくることはできません。そのため、小さな魚や、子どもの魚（稚魚）にとって、暮らしやすい場所となっています。


小さな魚や子どもの魚が暮らしやすい場所を守ることに、重要だと思いますか。



- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第7問】

以下は、干潟で採れる海の幸についての説明です

干潟で採れる海の幸	
子供のころを干潟の泥の中で過ごします。	 <p>クルマエビ</p>  <p>シャコ</p>
干潟を産卵場所としています。	 <p>ハゼ</p>  <p>カレイ</p>
干潟で暮らしています。	 <p>アサリ</p>  <p>ハマグリ</p>
海苔は干潟で養殖されています。	 <p>海苔の養殖</p>  <p>海苔巻きおにぎり</p>

干潟は、多くの海の幸を提供してくれる場所です。

あなたは海の幸をもたらしてくれる場所を守ることに、重要だと思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第8問】

干潟で暮らしている生きものの中には、カブトガニやムツゴロウなど絶滅の危機に瀕している生きものも少なくありません。

	
<p>カブトガニ 出典：環境省・せとうちネット</p>	<p>ムツゴロウ 出典：環境省パンフレット『いのちはつながっている 生物多様性を考えよう』</p>

あなたは絶滅の危機に瀕している生き物を守ることに重要だと思いますか

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第9問】



オオソリハシギ



ズグロカモメ

出典：水産庁パンフレット『藻場・干潟』

カモやツル、シギ、チドリなどの、長い距離を旅する渡り鳥にとって干潟は、大切な休息場所です。

渡り鳥以外の鳥にとっても、たくさんのエサがある干潟は、生きていくために必要な場所となっています。

あなたは鳥たちが暮らしていける場所を守ることに重要だと思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第10問】

干潟は、下水などの汚れた水が流れ込んでも、きれいにする力を持っています。
あなたは海の水をきれいにする場所を守ることが重要であると思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第 1 1 問】

あなたは、過去に干潟を訪れたことがありますか。

- ある
- ない
- わからない

【第12問】

あなたは過去に、どのような目的で干潟を利用しましたか。いくつでもお答えください

- 潮干狩り
- 自然観察（バードウォッチング、海の生きもの観察など）
- 釣り
- 漁業
- 環境教育
- 散歩
- ゴミ拾い・清掃活動
- 干潟の保全活動（ヨシ刈りなど）
- その他（自由回答）
- 利用したことはない

【第13問】

日本全国の干潟の面積は、1945年時点の82,621haから1996年までに、約4割に当たる約33,000haが失われています。

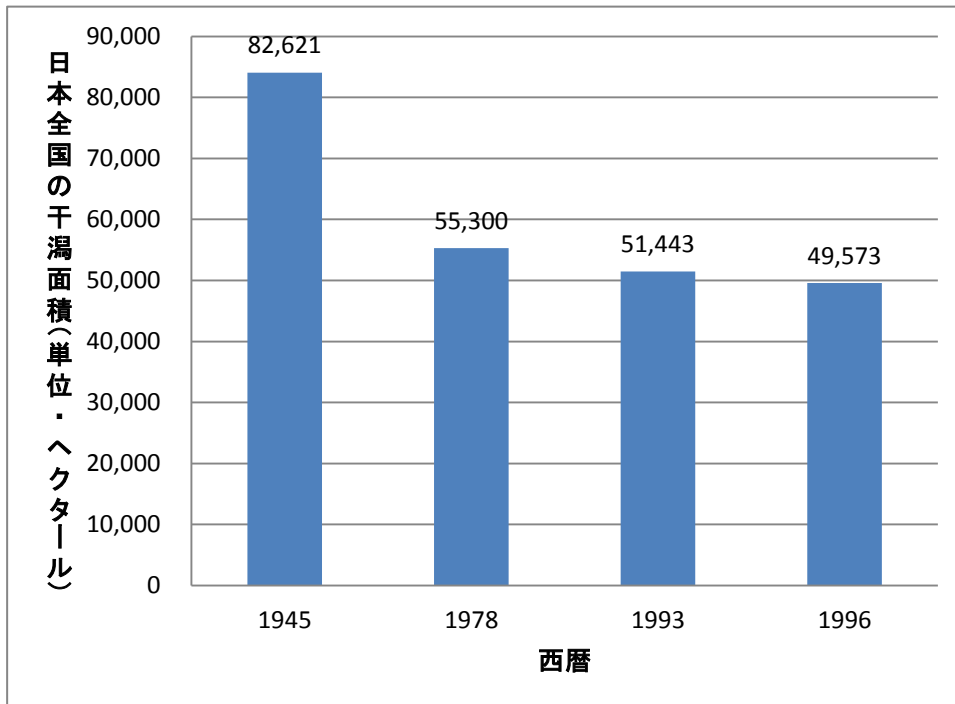


図 干潟の減少傾向

あなたは、日本の干潟が減少していることをご存知でしたか。

- 詳しく知っていた
- 少し知っていた
- 知らなかった

【第14問】

以下の資料をご覧ください。

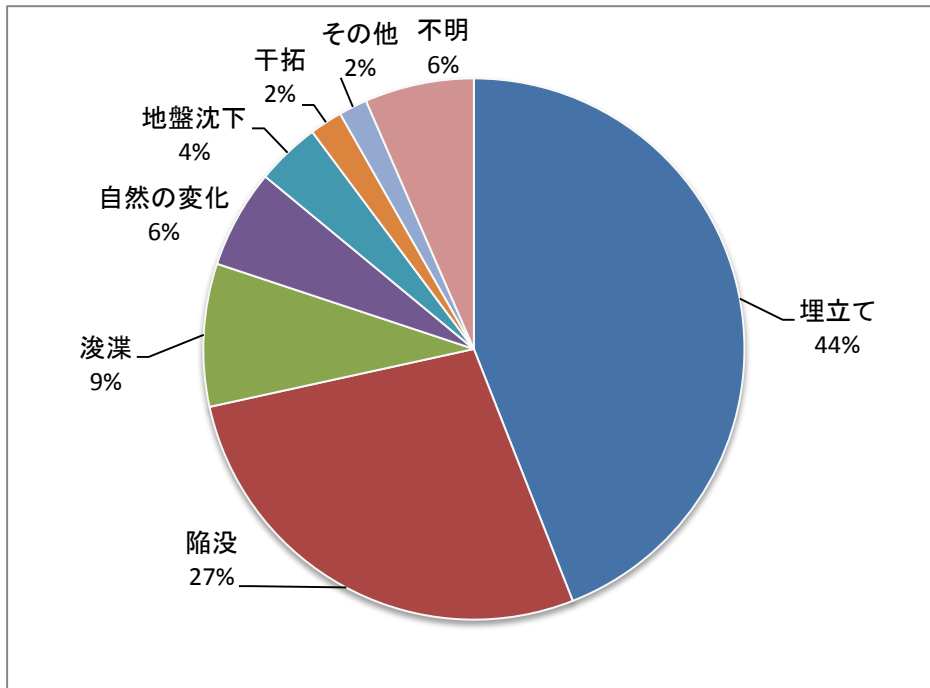


図 干潟の消滅理由（昭和53年から平成3年まで）

出典：平成6年度環境白書を元に作成

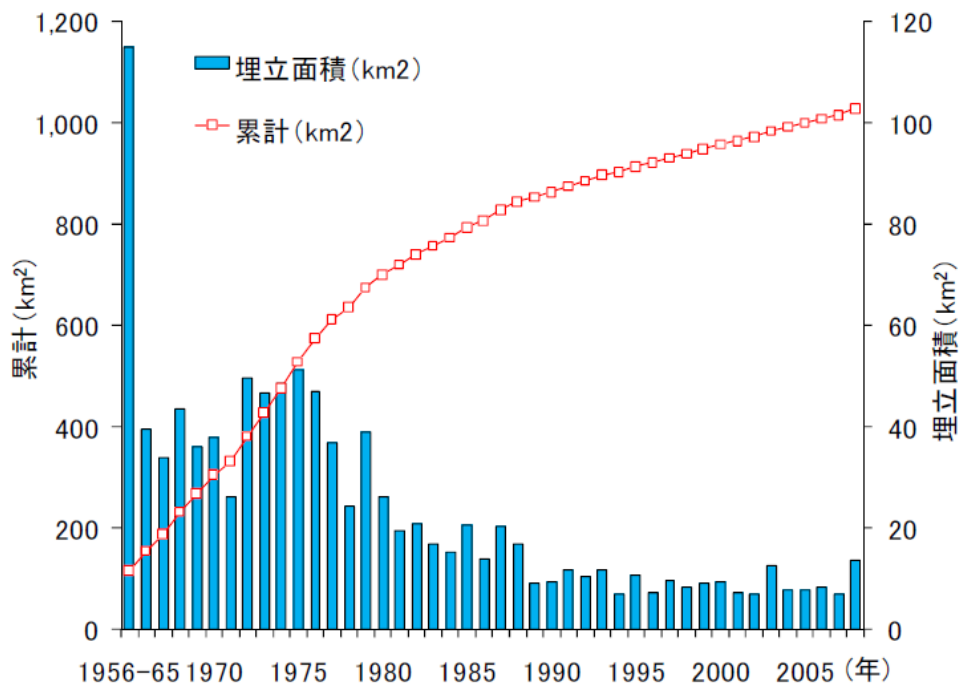


図 浅海域の埋立て面積の推移

出典：国土面積調（国土地理院）より作成

干潟がこれまで失われた大きな理由として、埋立てや浚渫（しゅんせつ：海底などから土砂を取り去る工事）などの海辺の開発が挙げられます。

近年では、埋立て面積は減少しているものの、埋立ては続いています。

あなたは、干潟が失われるような開発についてどう考えますか。

- 開発は必要である
- どちらかといえば開発は必要である
- わからない
- どちらかといえば開発は必要ない
- 開発は必要ない

【第15問】

2011年3月に発生した東日本大震災以降、海岸線に、防災対策のための構造物（防潮堤など）を建設することが全国各地で計画されています。これにより、海岸線にある干潟が失われることが懸念されています。

あなたは、海岸線に防災対策のための構造物（防潮堤など）を建設することについてどう考えますか。

- 賛成である
- どちらかと言えば賛成である
- わからない
- どちらかと言えば反対である
- 反対である

【第16問】

「生態系」は、それぞれに関わり合いながら生きる生きものたちの集まりと、それらの生きものが生きる自然環境を合わせたもののことを指します。

もし、ある生きものが失われたり、生きものが生きる場所が奪われると、人間を含めた別の生きものや別の場所にも影響が及びます。その影響がどれほどのものになるのかは誰にもわかりません。



図 生態系のイメージ図

あなたは、生態系を守ることが重要であると思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第17問】

2010年に愛知県名古屋市で生物多様性に関する国際会議が開催され、日本は議長国を務めました。

この会議では、生物多様性に関する世界目標である「愛知目標」が採択されました。「愛知目標」の中には「2020年までに、劣化した生態系の15%以上を回復させる」という個別目標が含まれています。

あなたは「愛知目標」に含まれる個別目標を達成していくことについてどうお考えですか。

- 必ず達成すべきだ
- 可能な範囲で達成すべきだ
- わからない
- 達成に向けた努力は必要ない
- 達成すべきではない

【第18問】

干潟を含む湿地を守るための国際条約として、ラムサール条約があります。現在、日本国内では46カ所（137,968ha）が、ラムサール条約に登録されています。



図 日本のラムサール条約登録湿地の位置

出典：環境省

ラムサール条約に登録されるためには、保護地域に指定されるなど適切に保全されていることが必要です。

あなたは干潟を保護地域に指定することにより、ラムサール条約に登録される干潟を増やすことが重要であると思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第19問】



ヨシ原に溜まった漂着ゴミ



ヨシの根元にゴミが堆積して
陸地化が進行

出典：中部地方環境事務所ウェブサイト

干潟が失われないようにするためには、人の手による管理が必要な場合があります。また、干潟に生えるヨシ等の植物も、管理を行わなければ、土砂やゴミがたまる原因となります。

あなたは、干潟を守るために、干潟の清掃を行ったり、土砂がたまりすぎない管理を行うことが重要であると思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第20問】

失われた干潟面積を回復させるためには、かつて干潟であった場所を再び干潟に戻すなどの、自然を再生する取組が必要です。

<干潟再生の例①>

東日本大震災の被災地では、震災で水につかった干拓地をかつての干潟に再生する計画が進められています。(写真は岩手県・小友浦)



<干潟再生の例②>

三重県志摩市の英虞湾では、干潟の約7割が干拓により消失しましたが、現在では干拓地の8割が荒れ地となっており、こうした荒れ地を干潟に再生する取組を進めています。

あなたは干潟の面積を増やすために、上記のような干潟の再生の取り組みを行うことが重要であると思いますか。

- 非常に重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり重要ではないと思う
- 全く重要ではないと思う

【第21問】

干潟を守るためには、保全、再生、維持管理等の取組を行う必要があります、そのためにはお金がかかります。

あなたは、干潟を守ることに国や地方自治体が労力とお金をかけることについてどのように思いますか。

- 賛成である
- どちらかといえば賛成である
- どちらともいえない
- どちらかといえば反対である
- 反対である

支払意思説明資料

以下は仮の質問です。(※資料の提示方法は今後検討)

日本全国の干潟は年々失われています。現在の干潟の面積を守り、新たに面積を増やす活動を行わなければ、毎年約 250ha の干潟が失われると推定されます。

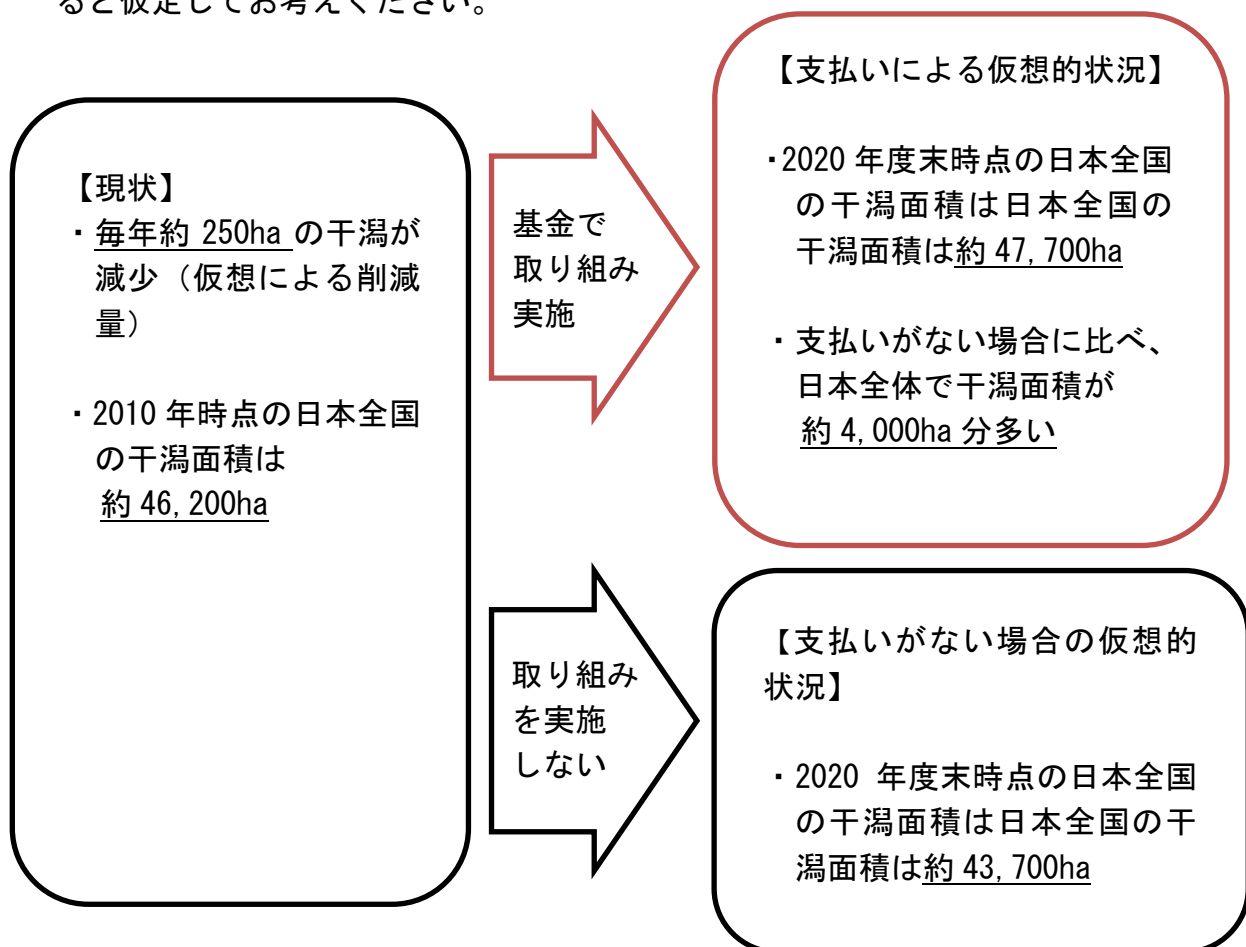
2010 年に愛知県名古屋市で開催された生物多様性に関する国際会議では、「2020 年までに、劣化した生態系の 15%以上を回復させる」という目標が掲げられました。

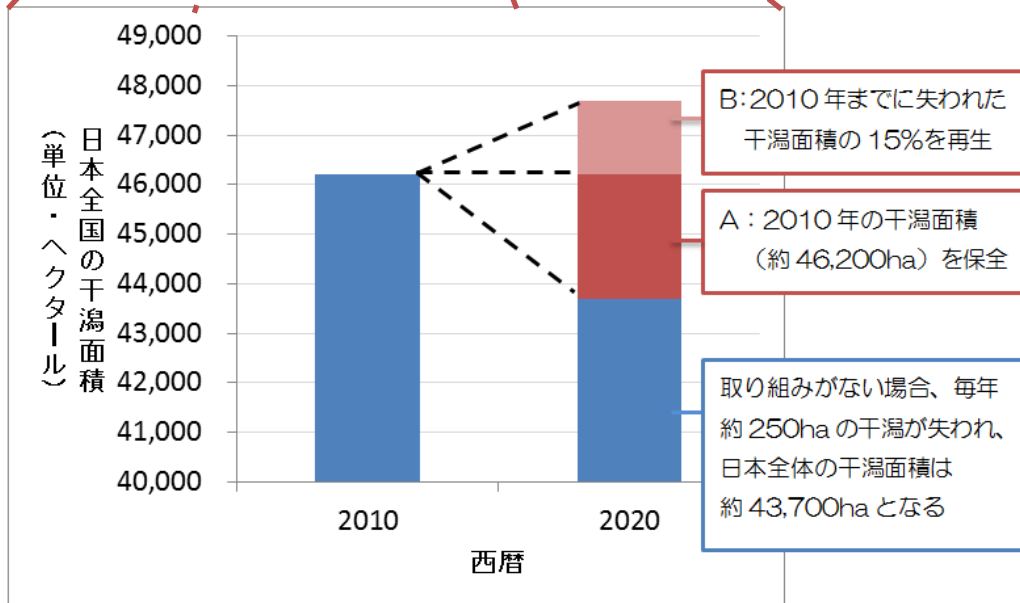
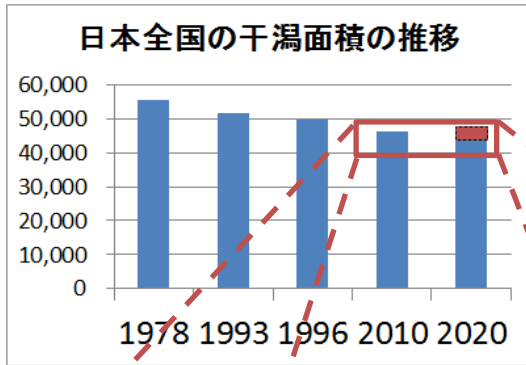
そこで、干潟を対象として、2020 年までの間に、2010 年時点における日本全国の干潟面積 (約 46,200ha) を守ったうえで、1978 年から 2010 年までに失われた干潟の面積の 15%にあたる約 1,500ha を再生する取り組みを行うために、新たに基金を設置して、皆さんから募金を集めることとします。

集められた募金を使って対策を行うことにより、何も対策を行わなかった場合よりも日本全国の干潟面積が約 4,000ha (山手線の内側の約 2 / 3 の面積に相当) 大きくなる。

集めたお金は、ラムサール条約登録の推進、干潟の維持管理、干潟の再生など、日本国内の干潟の面積を守り、増やすためだけに活用されます。

この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、支払った分だけ少なくなると仮定してお考えください。





【第 2 2 問】

日本全国の干潟を守り、再生する活動を行うために、仮にあなたの世帯にお金を支払っていただく必要があるとします。毎年同じ金額を支払っていただくものとし、支払は 2014 年から 2020 年までの 7 年間継続するものとして。

あなたは、年間 3,000 円 を支払ってもかまいませんか。

- はい (⇒第 22 問へ)
- いいえ (⇒第 23 問へ)

【第23問】

前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。7,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。

- はい (⇒第24問へ)
- いいえ (⇒第24問へ)

【第24問】

前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。1,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。

- はい (⇒第24問へ)
- いいえ (⇒第25問へ)

【第25問】

ここまでで、支払っても構わない金額として一度でも「はい」とお答えになった方にお伺いします。

その理由として、一番大きな理由はなんですか。1つをお選びください。

- 干潟を守ることで生物多様性を保全したいから
- 干潟を今後も利用していきたいから
- アサリやハマグリなど、干潟で取れる食べ物が好きだから
- 釣りや漁業のために、魚を育む場所を守りたいと思うから
- きれいな海を守りたいから
- 環境保護に限らず、世の中の役に立つことにお金を支払うのはよいことだと思うから
- その他（自由回答）

【第26問】

ここまでで支払ってもよい金額として2回とも「いいえ」とお答えになった方にお伺いします。

その理由はなんですか。1つをお選びください。

- 干潟に関して十分な知識がないから
- 支払い期間が7年は長いから
- 干潟を守る必要はあると思うが、アンケートで示された金額は高いから
- 干潟を守る必要はないと思うから
- 基金でお金を集めることに反対だから
- その他（自由回答）

【第27問】

あなたと同居しているご家族はあなたも含めて何人ですか

- ①1人（同居している家族はいない）
- ②2人
- ③3人
- ④4人
- ⑤5人
- ⑥6人
- ⑦その他（自由回答）

【第28問】

家族の中で収入のある人（年金生活者も含みます）はあなたも含めて何人ですか

- ①1人
- ②2人
- ③3人
- ④4人
- ⑤その他（自由回答）

【第29問】

あなたのご職業を教えてください

- ①会社員
- ②公務員
- ③農林漁業
- ④自営業
- ⑤団体職員
- ⑥専門学校生・大学生・大学院生
- ⑦学生（高校生以下）
- ⑧パート、アルバイト、フリーター
- ⑨年金生活者
- ⑩主夫・主婦
- ⑪無職
- ⑫その他（自由回答）

【第30問】

あなたの家の年収は、税込みでだいたいどれくらいですか

- ①200 万円未満
- ②200 万円以上 400 万円未満
- ③400 万円以上 600 万円未満
- ④600 万円以上 800 万円未満
- ⑤800 万円以上 1,000 万円未満
- ⑥1,000 万円以上 1,200 万円未満
- ⑦1,200 万円以上 1,500 万円未満
- ⑧1,500 万円以上

【第31問】

干潟に対する取り組みや本アンケート調査に対するご意見がございましたら、ご記入ください。